

2019年度 自己点検・自己評価について

南海福祉看護専門学校
学校長 一井 久子

1. 学校の教育目標

専門分野の職業人である前に、人間として豊かな人間性を醸成しつつ高い専門性と的確な対応力を培い、福祉の各分野の充実に貢献し得る有能な人材育成をしていく。

そのために学生に望まれる要件は、次のとおりとする。

- ①勤勉であること。
- ②人、物を大切にしている心をもっていること。
- ③すべての人に明るく対応できること。
- ④基本的な生活習慣を正しく確立していること。
- ⑤公共心、協調性を身につけていること。
- ⑥目的意識、向上心を持ち、積極的であること。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①児童福祉科の学生気質を活かした保育士と豊岡短期大学との教育連携で幼稚園教諭を育成する。
- ②児童福祉科の教員により、子育て支援事業の充実に努める。
- ③魅力ある新入生募集活動をする。
- ④基礎学力及び更なる学力向上を図る。
- ⑤効果的な科の運営体制基盤を確立する。
- ⑥福祉人としての倫理観及び社会人・職業人としての自覚と所作を身につけさせる。
- ⑦学生個々のニーズに合った就職支援をする。
- ⑧ソーシャルワーク実習を充実させ、介護の専門性とともソーシャルワークの専門性も身につけさせる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	※1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色は何か	3
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

評価項目にある学校の理念等の保護者への周知は、学生便覧を学生一人ひとりに配付しているが、それが保護者まで行き届いているかと問われると疑問が残る。

学生便覧の配付に加え、教職員へ配付している「教育活動の計画」も配付すれば、更に学校の取り組み等が明確になると思う。

学生便覧と教育活動の計画の2点を学生及び保護者へ周知できればよいと思う。

②今後の改善方策

学生便覧と教育活動の計画をオリエンテーション時に学生一人ひとりに配付すると共に、同じものを保証人へ郵送する。

(2) 学校運営

評価項目	※1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	2
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

本校に関係する法令等は、学校教育法、児童福祉法（施行令・施行規則含む）、社会福祉士及び介護福祉士法（施行令・施行規則含む）、社会福祉法（省令含む）、保健師助産師看護士法（施行令・施行規則含む）である。その他、労働法規等も含め、法令遵守の観点から各法令を確認する体制が必要だと思う。

②今後の改善方策

学校長を中心に、自己点検・自己評価会議を年1回以上開催する。

構成員は事務長、各科長、教務部長、広報部長、キャリア支援部長、主任により。（運営会議でも可）

(3) 教育活動

評価項目	※1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	2
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3

・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

学科を超えて、教員同士の参観授業の奨励をしていたが、積極的には行われていなかった。

教育課程編成委員会にて施設実習の評価基準を確認したが、施設によってどうしても評価基準が微妙に違ってくることがわかった。実習前には学校から統一した評価基準の説明は行うが、なかなか徹底されないところが課題である。

②今後の改善方策

参観授業を強化し、その結果を各人の観点から評価して意見交換をする。

実習の評価基準は、学校として統一しているが、施設によって微妙に差ができるようであれば、教員と実習担当者で連携を図りながら評価するようにする。

(4) 学修成果

評 価 項 目	※1
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	2
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

退学について、一人ひとりの能力、精神状態、家庭環境、経済状況等を面談の中で掌握して適切に対応をしていくよう取り組む。学生を指導していくうえで、個人情報たくさん知りえるので、個人情報の漏洩には十二分に留意し、学生の人権を守りながら、不利益を与えない。

卒業後、あかね会という同窓会があるが、卒業生の参加が少ない。魅力ある同窓会組織にしなければ活性化しないので有効なイベント等の企画を考える。

②今後の改善方策

クラス担任制であり、学生のシグナルをキャッチできるよう日頃から心掛ける。些細なことでも、週1回の学科会議で気になる学生の情報を共有して、学科で取り組む。

卒業前にあかね会（同窓会）の説明をし、総会や懇親会への参加を呼び掛ける。

③特記事項

あかね会が活性化すると、卒業生が就職している施設間の繋がりや、世代を超えた繋がりができ、母校を起点として福祉分野及び医療分野の繋がりができる。結果的に就職支援に直結できるような形成をめざしたい。

(5) 学生支援

評 価 項 目	※1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

学生からの相談を受け、どの程度まで関わっていけるかが課題である。教員は専門分野の職人といえるが、学生の問題には当然専門分野以外の内容が多い。したがって、学生の相談に寄り添い、それに応えるための采配を学科内でできるようにしたい。

②今後の改善方策

学生の相談で、学費問題は奨学金や各種奨学金の窓口。身体的な問題は医療機関。家庭の問題は市区町村福祉の窓口等、適切な機関へ繋いでくれるよう図る。

隔週で心理カウンセラーを要請して、予約制でカウンセリングを行う。

(6) 教育環境

評 価 項 目	※1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

火災、地震、津波、凶悪犯侵入等の対応マニュアルの整備

②今後の改善方策

津波による避難は高石市の避難計画と連携し整備する。

(7) 学生の受入れ募集

評 価 項 目	※1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

パンフレットをより魅力的に作成する。

高校ガイダンス等、高校生に対して本校の教育活動を周知し、楽しさと有意義さを強調する。

②今後の改善方策

本校のアピールポイントを整理し、全教職員が相手との会話の中で自然に自分の言葉で伝えられるようにする。

(8) 財務

評 価 項 目	※1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

一番の収入源である学生募集による定員確保

②今後の改善方策

資料請求者を増やすために、効果のある媒体業者を増やす。資料請求者が来校して頂くよう SNS や DM を使って育てる。オープンキャンパスに注力し、来て頂いた人が出願するよう図る。

③特記事項

資料請求者の内容も動機がしっかりしている人もいれば、動機が曖昧な人もいる。資料が多いとコストもあがるので、動機が薄い人へは簡易的な資料を送り、経費削減を図る。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	※1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
・学校関係者評価の実施と問題点の改善を行っているか	3

・学校関係者評価結果を公開しているか	3
--------------------	---

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

専修学校設置基準等を定期的に確認する。

学校関係者評価の評価項目に対して、学校教職員と外部委員の捉え方に温度差がある。この温度差は良いことであり、話を重ねることで改善されるので、積極的に課題をあげることを課題とする。

②今後の改善方策

教職員全員が閲覧できる共有サーバーがあるので、そこへ専修学校設置基準を保存する。

学校関係者評価委員会は、年1回開催なので、事前に評価項目等を提供し、意見をもって会議に臨むよう徹底する。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	※1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生ボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

※1 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

①課題

地域のニーズが何なのか？ 情報収集を行う中で、何ができるのかを検討する。

②今後の改善方策

本校の教育環境及び人的要員でできる催しを考える。